



# SPARC® Enterprise M3000サーバ プロダクトノート

---

XCP 1080 版

Copyright 2008 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. および富士通株式会社  
〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1, Japan. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権を所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許権などの知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。これらの製品、技術、および本書に対して Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社が有する知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。富士通株式会社と Sun Microsystems, Inc. およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者から富士通株式会社および/または Sun Microsystems, Inc. へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、お客様からのお申し込みに応じて入手可能です。富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. にお問い合わせください。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに由来しています。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Java、Netra、Solaris、Sun Ray、Answerbook2、docs.sun.com、OpenBoot、および Sun Fire は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. または関連会社の商標または登録商標です。

富士通および富士通のロゴマークは、富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社が SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、Sun Microsystems, Inc. が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun Microsystems, Inc. は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザー



インタフェースの概念の研究開発における Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。Sun Microsystems, Inc. は Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装しているかまたは Sun の書面によるライセンス契約を満たす Sun Microsystems, Inc. のライセンス実施権者にも適用されます。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Sun Microsystems, Inc. and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.

免責条項：本書または本書に記述されている製品や技術に関して富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保証に限ります。このような契約で明示的に規定された保証を除き、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. およびそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われないものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論のもと第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われないものとします。



# 目次

---

はじめに	vii
SPARC Enterprise M3000 サーバのサポートについて	vii
技術サポート	vii
ソフトウェアリソース	vii
マニュアルへのアクセス	viii
ご意見をお寄せください	viii
XCP 1080 に関する一般的な情報	1
サポートされるファームウェアおよびソフトウェア	1
Solarisパッチに関する情報	2
Emulex PCI Express (PCIe)カードのパッチ	2
機能の問題と制限	3
一般的な機能の問題と制限	3
ハードウェアに関する情報	5
DVDドライブ/ディスクの使用について	5
USBメモリの使用について	5
UPSコントローラー (UPC) の分岐接続	6
接続できる場合	7
接続できない場合	8

ソフトウェアに関する情報	9
XCPに関する問題と回避方法	9
Solaris OSに関する問題と回避方法	12
ソフトウェアマニュアルの変更予定	15
システム内の縮退メモリの識別	16

# はじめに

---

本書では、SPARC® Enterprise M3000 サーバ、ソフトウェア、および出版後に見つかったドキュメントに関する最新の情報を説明します。

---

## SPARC Enterprise M3000 サーバのサポートについて

### 技術サポート

SPARC Enterprise M3000 サーバのドキュメントで取り上げられていない技術上の問題または質問がありましたら、営業担当者または当社技術員までご連絡ください。

### ソフトウェアリソース

SPARC Enterprise M3000 サーバにはSolaris™ オペレーティングシステム (OS) およびSun Java™ Enterprise System softwareがプレインストールされています。

SPARC Enterprise M3000 サーバのソフトウェアリソースについては、営業担当者または当社技術員までご連絡ください。

---

注 – 最新のパッチ情報は以下を参照してください。

日本語サイト

<https://software.fujitsu.com/jp/security/products-others/unix/>

グローバルサイト

<http://www.fujitsu.com/global/support/software/security/products-s/patch-info/>

インストールに関する情報とREADMEファイルもパッチと一緒にダウンロードされます。

---

## マニュアルへのアクセス

SPARC Enterprise M3000 サーバのインストール、管理、使用のための手順は、SPARC Enterprise M3000 サーバのマニュアルセットに示されています。マニュアルセットは、以下のウェブサイトからダウンロード可能です。

日本語サイト

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

グローバルサイト

<http://www.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

---

注 – 本書で説明する情報は、SPARC Enterprise M3000 サーバのマニュアルセットの情報よりも優先されます。

---

Solaris OS関連のマニュアル

<http://www.sun.com/documentation>

---

## ご意見をお寄せください

本書に関するご意見、ご要望または内容に不明確な部分がありましたら、マニュアル番号、マニュアル名称、ページおよび具体的な内容を下記URLの『お問い合わせ』から送付してください。

SPARC Enterpriseマニュアルのサイト:

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>



# XCP 1080 に関する一般的な情報

---

ここでは、XCP 1080に関する一般的な情報について説明します。

- サポートされるファームウェアおよびソフトウェア
- 機能の問題と制限

---

## サポートされるファームウェアおよびソフトウェア

本リリースでは、以下のファームウェアおよびオペレーティングシステムがサポートされています。

XCP 1080は、SPARC Enterprise M3000 サーバでサポートされるXCPの、最初のバージョンです。

表 1 ファームウェアおよびオペレーティングシステムのバージョン

ファームウェアおよびオペレーティングシステム	バージョン
XSCF Control Package (XCP)	1080
Solaris™ Operating System	Solaris 10 10/08

XCPは、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/download/firmware/>

XSCF Webは、多くのウェブブラウザでサポートされます。このうち、XSCF Webの動作することが確認されているウェブブラウザは、表 2のとおりです。

表 2 確認されたウェブブラウザのバージョン

ウェブブラウザ	バージョン
Microsoft® Internet Explorer	6.0および7.0
Netscape Navigator™	7.x
Firefox (Solaris 10)	2.0

## Solarisパッチに関する情報

Solaris 10 10/08を使用している場合は、必要なパッチはありません。

その他のSolaris OSの情報については、12ページの「[Solaris OSに関する問題と回避方法](#)」を参照してください。

## Emulex PCI Express (PCIe)カードのパッチ

以下のEmulexカードは、パッチ120222-26で提供されるドライバが必要です。

- XSEFC402AF Sun StorageTek Enterprise Class 4Gb Dual-Port Fibre Channel PCI-E HBA
- XSEFC401AF Sun StorageTek Enterprise Class 4Gb Single-Port Fibre Channel PCI-E HBA

---

# 機能の問題と制限

ここでは、本リリース時点でわかっている問題および制限事項について説明します。

## 一般的な機能の問題と制限

- ログアーカイブ機能は、現時点ではサポートされていません。
- ログイン時のロックアウト機能(`setloginlockout(8)/showloginlockout(8)`コマンド)は、現時点ではサポートされていません。
- XSCFをドメインのNTPサーバとする場合は、XSCFが参照するDNSサーバおよびNTPサーバのICMPプロトコルをブロックしないように設定してください。
- 外部電源制御装置 (F7973RC1) の外部電源制御インターフェースを使用するとき、次の通知信号はサポートされていません。
  - OSパニックまたは本体装置ハードウェア異常信号 (\*CPUN/RTNU)
  - 本体装置ハードウェア異常信号(電源異常、温度異常、ファン異常) (\*ALARM)
- ドメインはXSCFをNTPサーバとすることを推奨します。この場合、以下の注意が必要です。
  - XSCFは、外部NTPサーバに接続しなければなりません。
  - XSCFのほか、1つまたは複数のNTPサーバをドメインに接続する場合は、XSCFに指定したNTPサーバと同じサーバに接続してください。

NTPの詳細については、当社技術員にお問い合わせください。NTP設定の詳細については、『SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000サーバ XSCF ユーザーズガイド』を参照してください。

- 以下の語はシステムに予約されているため、ユーザーアカウント名に使用することはできません。  
root、bin、daemon、adm、operator、nobody、sshd、rpc、rpcuser、ldap、apache、ntp、admin、default
- XSCF WebではFirefox 3はサポートされていません。
- XSCF Webを使用する場合は、ブラウザのキャッシュ機能を無効にしてください。キャッシュを有効にしておくと、キャッシュされた古いデータがWebページに表示されてしまうことがあります。キャッシュを無効にする方法については、ご使用のブラウザによって、以下のように設定してください。
  - Internet Explorer 6および7:  
[ツール]-[インターネット オプション]-[詳細設定]タブにある「暗号化されたページをディスクに保存しない」をチェックします。
  - Netscape 7.1以降:

[編集]-[設定]-[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較]の項目で「ページにアクセスするたび」を選択します。

- Firefox 2:

アドレス欄に「about:config」と入力し、フィルタ欄に「cache」と入力します。リストにある「browser.cache.check\_doc\_frequency」の設定値を「1」に変更します。

- XSCF Webを使用し、XCPのインポートまたはファームウェアをアップデートする場合、ウェブブラウザ上にSession ID errorが表示されることがあります。また、Autologout設定でタイムアウト時間を30分以上で指定すると、ファームウェアアップデートの際にInternal Server Errorが表示されることがあります。現在のブラウザを閉じてから、新しいブラウザを開いて、XSCF Webに接続しなおしてください。
- XSCF Webを使用する時、ブラウザに検索ツールなどのプラグインが組み込まれている場合は、プラグインを削除する、またはポップアップブロック設定を無効にしてください。
- XSCF-LANはオートネゴシエーションに対応しています。XSCF-LANと全二重固定で設定されているネットワーク機器を接続した場合、IEEE802.3の規約によって、XSCF-LANは半二重モードで通信します。これにより、ネットワークの通信速度が遅くなったり、通信異常が発生したりする場合があります。XSCF-LANと接続するネットワーク機器は、必ずオートネゴシエーションに設定してください。
- restoredefaults(8) コマンドは、現時点ではサポートされていません。

# ハードウェアに関する情報

---

ここでは、SPARC Enterprise M3000 サーバのハードウェアに関する特記事項や問題点について説明します。

- [DVDドライブ／ディスクの使用について](#)
- [USBメモリの使用について](#)
- [UPSコントローラー（UPC）の分岐接続](#)

---

## DVDドライブ／ディスクの使用について

本サーバに搭載されているDVDドライブを使用する際の注意事項があります。次のWebサイトから『SPARC EnterpriseでのDVDドライブ／ディスクの使用について』を参照してください。

URL:

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

---

## USBメモリの使用について

`dumpconfig(8)`、`restoreconfig(8)`、`snapshot(8)`コマンド実行時に、データの保存先としてUSBメモリを指定する場合は、あらかじめ、媒体となるUSBメモリをご用意ください。

なお、保存されたデータにはシステムに関する情報が含まれています。USBメモリをご利用になる場合には、セキュリティ保持の観点から、データが保存されたUSBメモリの管理について留意が必要となります。

現在販売されているすべてのメーカーのUSBメモリに対して、XSCFとの接続性および動作を保証しているわけではありません。ご使用のUSBメモリによっては、XSCFファームウェアのエラーやリセットなどの異常が発生する場合も考えられます。そのような異常が発生した場合には、ただちに、USBメモリの使用を中止してください。

XSCF用USBポートにUSBメモリを接続する場合は、直接、USBポートにUSBメモリを接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルなどを介して接続すると、エラーの要因となる場合があります。

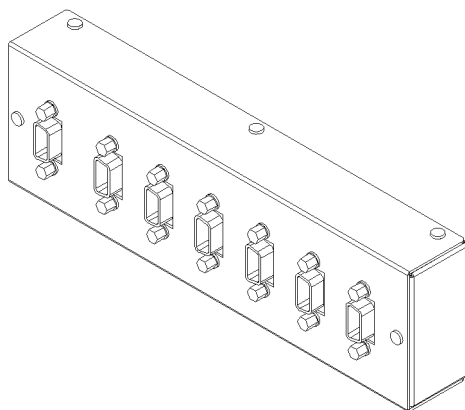
---

## UPSコントローラー（UPC）の分岐接続

UPC 6分岐コネクタを使用すると、最大6台の無停電電源装置（UPS）を接続できます。

UPC 6分岐コネクタの外観図を [図 1](#) に示します。

図 1      UPC 6分岐コネクタ



本体装置のUPCは、以下に説明している条件を満たせば、分岐コネクタを使用して複数台のUPSに接続できます。ここでは、本体装置のUPCの分岐接続の条件について説明します。

## 接続できる場合

UPSと本体装置が以下の接続形態の場合には、信号ケーブルを接続できます。

- 1台の本体装置に1台のUPSを接続する場合（図 2参照）
- 1台の本体装置に複数台のUPSを接続する場合（図 3参照）

図 2 UPSと本体装置との信号ケーブルの接続  
(1台の本体装置に1台のUPSを接続する場合)

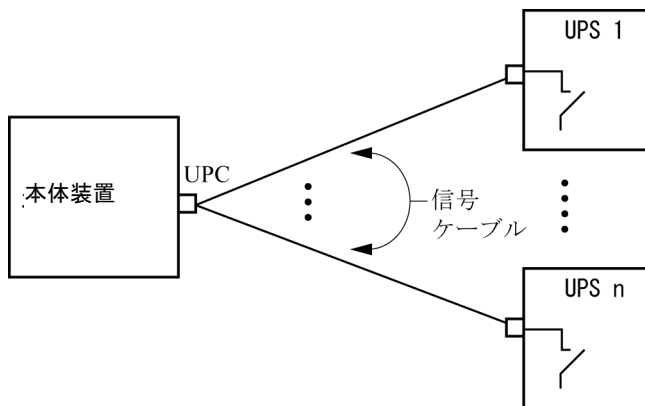


---

**重要** – 1台の本体装置に複数台のUPSを接続する場合、本体装置からの送出信号（ER信号）の条件によっては、信号ケーブルが接続できないことがあります。この接続形態で接続する場合には、当社技術員にご相談ください。

---

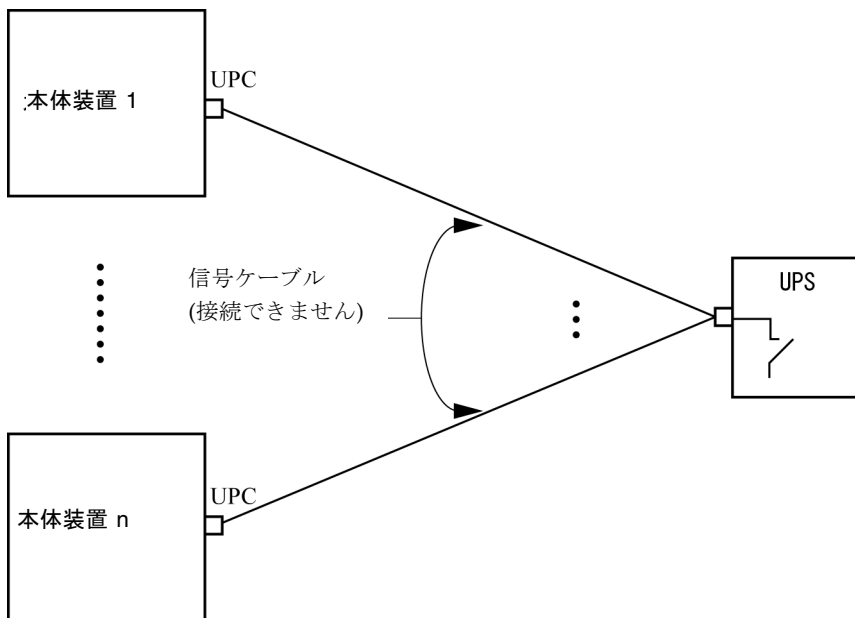
図 3 UPSと本体装置との信号ケーブルの接続  
(1台の本体装置に複数台のUPSを接続する場合)



## 接続できない場合

複数台の本体装置に1台のUPSを接続する場合（図 4参照）、UPSと本体装置との信号ケーブルの接続はできません。

図 4 UPSと本体装置との信号ケーブルの接続ができない場合  
(複数台の本体装置に1台のUPSを接続する場合)





# ソフトウェアに関する情報

ここでは、SPARC Enterprise M3000 サーバのソフトウェアに関する特記事項や問題点について説明します。

- [XCPに関する問題と回避方法](#)
- [Solaris OSに関する問題と回避方法](#)
- [ソフトウェアマニュアルの変更予定](#)
- [システム内の縮退メモリの識別](#)

## XCPに関する問題と回避方法

表 3 に、XCPに関する既知の問題とこれらの問題に対する回避方法を示します。

表 3 XCP に関する問題と回避方法

ID	説明	回避方法
RTIF1-070418-009	XSCF動作中、プロセスダウン、watchdogタイムアウトまたはハングアップが発生し、XSCFがリセットする場合があります。	XSCF が起動されていることを確認してください。 起動されていない場合は、ドメインを停止後、本体装置の電源切断/投入（AC OFF/ON）を実行してください。電源を再投入する場合は、電源を切断したあと30秒以上待ってから電源を投入してください。
RTIF1-070528-002	XSCFが動作中、watchdogタイムアウトが発生し、XSCFがリセットする場合があります。	XSCF が起動されていることを確認してください。 起動されていない場合は、ドメインを停止後、本体装置の電源切断/投入（AC OFF/ON）を実行してください。電源を再投入する場合は、電源を切断したあと30秒以上待ってから電源を投入してください。

表 3 XCP に関する問題と回避方法 ( 続き )

ID	説明	回避方法
RTIF1-071102-002	snmpデーモンが終了する場合があります。	setsnmp enableコマンドを実行し、snmpデーモンを再起動してください。
RTIF1-080725-001	setsnmp adv3traphost を実行した場合、Trap ホストが動作していない、ユーザー名やパスワードの間違いなどの理由で、認証に失敗すると、以降の SNMP Trap が通知されません。	有効な回避方法はありません。 SNMP TRAP ホストが起動されていることを確認の上、正しいユーザー名で setsnmp(8) コマンドを再度実行してください。
RTIF1-080725-002	SNMPv3 トラップを設定している場合、XSCF で watchdog timeout が発生し XSCF がリセットされると、以降の SNMP Trap が通知されません。	XSCF をリセットしてください。
RTIF1-80725-004	XSCF シェルでサマータイムを設定すると、XSCF Web の Logs メニューで表示される時刻が、正しく表示されません。	有効な回避方法はありません。 XSCF シェルの showlogs(8) コマンドを使用してください。
RTIF1-081006-001	"XSCF FMEM write error" のエラーログが記録され、ファームウェアアップデートが失敗する場合があります。	システムの電源をいったん切断 ( AC OFF ) してから、再投入 ( AC ON ) してください。その後、再度ファームウェアアップデートを実行してください。
RTIF1-081006-002	setemailreport(8) コマンドで、SMTP アドレスに 255 文字以上指定するとエラーになります。	SMTP アドレスに 255 文字以上指定しないでください。
RTIF1-081006-003	ドメイン動作中、XSCF ユニットの故障が原因で XSCF がリセットされたあと、ハードウェアの状態を表示すると、CPU とメモリのステータスが Deconfigure と表示されます。	マザーボードユニットだけ交換してください。このときメモリに故障がなければ、メモリを交換する必要はありません。
RTIF1-081006-004	ファームウェアアップデート中に以下のメッセージが出力され、XSCF がパニックすることがあります。 kernel BUG in jffs2_do_read_inode at fs/jffs2/readinode.c:XXX!	XSCF をリセットしたあと flashupdate(8) コマンドを使用して、再度、ファームウェアアップデートを行ってください。
RTIF1-081006-005	XSCF Web のネットワーク設定では、setnetwork -r コマンドに相当する機能がサポートされていません。また、ホスト名やドメイン名に localhost や localdomain を指定すると "SessionID has expired" とエラーメッセージが出力されます。	XSCF シェルで setnetwork -r コマンドを実行してください。
RTIF1-081006-006	XSCF Web でパニックログを表示すると、メッセージの先頭部分から表示されないことがあります。	表示内容が不足している場合は、XSCF シェルで showlogs panic コマンドを実行してください。

表 3 XCP に関する問題と回避方法 ( 続き )

ID	説明	回避方法
RTIF1-081006-007	password(8) コマンドの [user] オペランドは、ドキュメントでは省略可となっているにもかかわらず、オプション設定時に指定しない場合はエラーとなります。	有効な回避方法はありません。 オプションを設定した場合は、user オペランドを指定して password(8) コマンドを実行してください。
RTIF1-081006-011	SNMP トラップホストの設定を変更しても、setsnmp disable と setsnmp enable を実行するまで反映されません。	SNMP の設定を変更した場合は、以下のコマンドを実行してください。 XSCF> setsnmp disable XSCF> setsnmp enable
RTIF1-081016-001	UPS装置が停電を検知しても、SNMP Trap が通知されません。	有効な回避方法はありません。
RTIF1-081016-002	FRUが（システムの電源切断を伴い）停止交換されたとき、（電源投入後）監視プロセスが、発生した交換操作を示すような監視メッセージログのエントリを生成しない場合があります。	有効な回避方法はありません。
RTIF1-081016-003	Internet Explorer 6 または 7 で、XSCF Web の [Setting]-[Audit] メニューから [Add Policy] を選択したときに表示されるポップアップ画面上で、[Reset] ボタンをクリックしたあと [OK] ボタンをクリックすると、以下のメッセージが出力され、ログアウトされる場合があります。	XSCF Web に再ログインしてください。ポップアップ画面の [User] テキストボックス内のテキストを消去する場合は、[Reset] ボタンを使用せずに、BackSpace キーを使用してください。
	Error Session Error Session ID has been expired	

# Solaris OSに関する問題と回避方法

リリースされているSolaris OSで発生しうる問題を、表 4に示します。

表 4 Solaris OS に関連する問題と回避方法

CR ID	説明	回避方法
6481002	PCI-Expressカードを使用してネットワークからSolarisをインストールすると、パニックが発生することがあります。	Sun PCI-E Dual Gigabit Ethernet Adapter MMFカードまたはSun PCI-E Dual Gigabit Ethernet Adapter UTPカードを使用している場合は、これらのカードを使用してSolarisをインストールしないでください。代わりに、オンボードのGigabit Ethernetなど、他のネットワークデバイスを使用してください。
6519290	/tmp (tmpfs) に巨大なファイルや大量のファイルを作成した場合、または、復旧可能な軽度のメモリ不足が発生した場合、スワップデバイスへのI/Oが大量に発行され、システムがスロウダウンすることがあります。	以下を /etc/system のファイルに追加してから、ドメインを再起動してください。 set maxfastscan=0x2000
6531036	ネットワークインストール後、network initialization failed のエラーメッセージが繰り返し表示されることがあります。	有効な回避方法はありません。このメッセージは無視しても差し支えありません。
6532215	ドメインのブート時に volfs や dscp サービスの起動が失敗することがあります。  svc:/platform/sun4u/dscp:default: Method "/lib/svc/method/svc-dscp start" failed with exit status 95.  svc:/system/filesystem/volfs:default: Method or service exit timed out. Killing contract 59.	ドメイン起動後にサービスを再起動してください。  本問題を事前に回避する場合は以下を設定してください。  # svccfg -s dscp setprop start/timeout_seconds=count: 300 # svccfg -s volfs setprop start/timeout_seconds=count: 300 # svcadm refresh dscp # svcadm refresh volfs
6537511	セキュリティテスト実行中にBluetoothパートナーがハングします。	アプリケーションサーバを再起動してください。
6572827	prtdiag -vコマンドでPCIバスのタイプが間違っていて出力されます。PCI-Xリーフデバイスには「PCI」、古いPCIデバイスには「UNKN」と表示されます。	有効な回避方法はありません。
6623226	Solarisのlockstat(1M)コマンドやdtrace lockstat providerで、システムパニックが発生することがあります。	lockstat(1M)コマンドおよびdtrace lockstat providerを使用しないでください。

表 4 Solaris OS に関連する問題と回避方法 ( 続き )

CR ID	説明	回避方法
6625734	シングルドメイン環境下で、大量のプロセッサが搭載されているシステムでは、一定の作業負荷がかかるとパフォーマンスが低下することがあります。	アプリケーションプロセッサをバインドする場合はプロセッサセットを使用するか、プロセッサをグループ化させるためにLWPを使用してください。詳細は、Solarisのpsrset(1M)コマンドのマニュアルページを参照してください。
6660168	ドメイン上でubc.piowbeue-cpu errorが発生するとSolaris Fault Management cpumem-diagnosisが失敗し、FMAサービスが停止することがあります。これが発生すると、コンソールログに以下のように出力されます。  SUNW-MSG-ID: FMD-8000-2K, TYPE: Defect, VER: 1, SEVERITY: Minor EVENT-TIME: Fri Apr 4 21:41:57 PDT 2008  PLATFORM: SUNW,SPARC-Enterprise, CSN: 2020642002, HOSTNAME: <hostname> SOURCE: fmd-self-diagnosis, REV: 1.0 EVENT-ID: 6b2e15d7-aa65-6bcc-bcb1-cb03a7dd77e3 DESC: A Solaris Fault Manager component has experienced an error that required the module to be disabled. Refer to <a href="http://sun.com/msg/FMD-8000-2K">http://sun.com/msg/FMD-8000-2K</a> for more information. AUTO-RESPONSE: The module has been disabled. Events destined for the module will be saved for manual diagnosis. IMPACT: Automated diagnosis and response for subsequent events associated with this module will not occur. REC-ACTION: Use fmdump -v -u <EVENT-ID> to locate the module. Use fmadm reset <module> to reset the module.	FMAサービスが停止した場合は、復旧させるために、ドメイン上で以下のコマンドを実行してください。  # svcadm clear fmd  その後、cpumem-diagnosisを再起動します。 # fmadm restart cpumem-diagnosis
6668237	DIMM を交換しても、該当した DIMM の故障がドメインから消去されません。	以下のコマンドを実行してください。 # fmadm repair <i>fnri uuid</i> # fmadm rotate

表 4 Solaris OS に関連する問題と回避方法 ( 続き )

CR ID	説明	回避方法
6723202	<p>SPARC Enterprise M3000 サーバのオンボード SAS/LSI コントローラを使用してハードウェア RAID を構築するために、raidctl コマンドを使用することはできません。</p> <p>raidctl コマンドはディスクやコントローラのスレータスを確認したり、システム上にインストールされている PCI ホストバスアダプター (HBA) に対して使用することができます。</p>	<p>有効な回避方法はありません。この問題は解決する予定はありません。</p>
6725885	<p>cfgadm コマンドを使用すると、SPARC Enterprise M3000 サーバでは存在しないシステムボード (SB1 から SB15) が表示されてしまいます。</p>	<p>cfgadm コマンドの出力にある、SB1 から SB15 は無視してください。</p>
6745410	<p>システムを boot しないような kadb のオプションは、ブートプログラムで無視されてしまいます。</p>	<p>kadb を使用しないで、kmdb を使用してください。</p>

# ソフトウェアマニュアルの変更予定

ここでは、SPARC Enterprise M3000 サーバのソフトウェアマニュアルに関して、出版後にわかった最新のソフトウェアに関する情報やマニュアルの変更予定を示します。

なお、『SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000サーバ XSCF リファレンスマニュアル』に関する変更内容は、特に断りのないかぎり、マニュアルページにも適用されます。また、マニュアルページの情報よりも優先されます。

表 5 に、マニュアルの変更予定を示します。

表 5 ソフトウェアマニュアルの変更予定

マニュアル	ページ	変更内容
SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000/M8000/M9000サーバ XSCF リファレンスマニュアルおよびXSCFマニュアルページ	traceroute(8) コマンド	ユーザー権限内の以下の記述は削除されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>DSCP アドレスに対して実行する場合 fieldeng</li></ul> オペランド内の記述に、以下の内容が追加されます。 DSCPアドレスを指定した場合はエラーとなります。

---

## システム内の縮退メモリの識別

1. XSCFにログインします。
2. 次のコマンドを実行します。

```
XSCF> showstatus
```

以下は、マザーボード上のDIMM番号0Aのメモリが縮退された例を示しています。

```
XSCF> showstatus
      MBU_A Status:Normal;
*     MEM#0A Status:Degraded;
```